

2013年3月21日

国立大学法人 長崎大学
アステラス製薬株式会社

長崎大学とアステラス製薬：「顧みられない熱帯病」の 抗 Dengue ウイルス薬のスクリーニング評価で共同研究開始

－ 抗 Dengue ウイルス活性評価により有望な化合物を選定へ －

国立大学法人長崎大学（所在地：長崎市、学長：片峰 茂、以下「長崎大」）とアステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畑中 好彦、以下「アステラス製薬」）は本日、「顧みられない熱帯病（Neglected Tropical Diseases）、以下「NTDs」⁽¹⁾の治療のための抗 Dengue ウイルス薬の探索を目的とした共同研究契約を締結しましたので、お知らせします。長崎大とアステラス製薬の NTDs に関する共同研究は、2012年11月に締結した「抗寄生原虫薬のスクリーニング評価に関する共同研究契約」に次いで2例目です。

NTDs は、主に発展途上国の熱帯地域において蔓延している寄生虫や細菌、ウイルスによる感染症です。世界で10億人以上が感染していると言われ、地球規模での保健医療問題として国の枠組みを超えた取り組みが行われています。NTDs の中でも、Dengue ウイルスにより引き起こされる Dengue 熱/Dengue 出血熱⁽²⁾ は、未だ既存の治療薬や開発品が存在しないこと、また複数のワクチンは開発中ですが、その有効性が現時点では明確ではないことなどから、アンメットメディカルニーズの高い疾患です。

本契約の下、熱帯感染症研究で国内有数の研究機関として実績のある長崎大学熱帯医学研究所（以下「熱研」）とアステラス製薬は連携して、抗 Dengue ウイルス活性を有する可能性のある複数の化合物をアステラス製薬が提供し、熱研で抗 Dengue ウイルス活性を指標に評価します。本研究は、国内で Dengue ウイルス研究の KOL（Key Opinion Leader）として実績のある、熱研ウイルス学分野の森田 公一教授のアドバイスを受けながら進めます。

研究は大きく二段階に分かれます。第一段階（一次スクリーニング）では、*in vitro*（試験管内）における抗 Dengue ウイルス活性及び細胞毒活性を測定します。第二段階（二次スクリーニング）では、一次スクリーニングで選択的な抗 Dengue ウイルス活性の認められた化合物について、*in vivo*（生体内）における Dengue ウイルス感染モデルでの薬効を測定します。

長崎大とアステラス製薬は本共同研究を通じた取り組みにより、世界で Dengue 熱/Dengue 出血熱により苦しむ患者さんのために早期に治療薬が生み出されるよう努め、グローバル規模の保健医療問題の改善に寄与します。

以上

#####

長崎大学熱帯医学研究所

長崎大学熱帯医学研究所は、日本で唯一の熱帯病研究に特化した国立大学法人全国共同利用附置研究所です。顧みられない熱帯感染症（寄生虫病、リーシュマニア症、シャーガス病、アフリカ睡眠病、デング熱）、マラリア、エイズ、結核、さらにはウイルス性出血熱などの人獣共通感染に由来する新興感染症の基礎的な研究から応用研究までを幅広く行っています。すでに70年の歴史を有し、WHO（世界保健機関）の熱帯ウイルス感染症の連携センターとして認定されています。また、「ナショナルバイオリソースプロジェクト」で病原原虫分野を担当し、研究用病原体の保存管理を行っています。熱研は2005年に、アフリカのケニアと東南アジアのベトナムに海外教育研究拠点を設置し、臨床及び疫学研究に一段と注力しています。また2011年には新たに臨床開発学分野を創設し、顧みられない熱帯感染症をターゲットにした医薬品・ワクチン開発を本格化させました。

<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/home/>

アステラス製薬

先端・信頼の医薬で世界の人々の健康に貢献することを企業理念に掲げています。世界で約1万7千名の従業員を有しています。泌尿器疾患、免疫疾患（移植を含む）及び感染症、がん、精神・神経疾患、糖尿病合併症及び腎疾患の領域におけるグローバル・カテゴリー・リーダーを目指していきます。アステラス製薬の詳細な情報については、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.astellas.com/jp>

アステラス製薬は、パートナーシップの取り組みを通じて、発展途上国における“保健医療へのアクセス問題（Access to Health^{*}）”の改善に取り組んでいます。Access to Health への貢献の一環として、アステラス製薬は、自社の研究ノウハウやアセットを活用して、世界でNTDsに感染し苦しむ患者さんのための新薬を生み出すための取り組みを行っています。

Access to Health^{*}：世界には未だアンメットメディカルニーズの高い疾患・病気が数多く存在します。また、貧困や医療システムの不備から、必要な医療を受ける事ができず、医薬品を入手できない多くの人々がいます。これをアステラス製薬では、「保健医療へのアクセス問題」（Access to Health）と捉え、企業市民の一員としてその問題解決に向け取り組んでいます

(1) 顧みられない熱帯病（Neglected Tropical Diseases : NTDs）

主に開発途上国の熱帯地域に蔓延している寄生虫、細菌、ウイルス感染症のことで、WHOで焦点を当てている17の疾患群^{**}だけで、世界で10億人以上が感染していると言われています。未だ必要な医療を受けることができず、必要な治療薬を入手できないために、人々の生命を脅かす健康問題に留まらず、経済活動の足かせ・貧困の原因ともなっています。

17の疾患群^{**}： ブルーリ潰瘍、シャーガス病、囊尾虫症、デング熱/デング出血熱、ギニア虫感染症、包虫症、食物媒介吸虫類感染症、睡眠病、リーシュマニア症、ハンセン病、リンパ系フィラリア症、河盲症、狂犬病、住血吸虫症、土壌伝播寄生虫症、トラコーマ、トレポネーマ感染症

(2) デング熱/デング出血熱

デング熱/デング出血熱は、蚊（主にネッタイシマカ *Aedes aegypti*）によって媒介されるデングウイルスの感染症です。非致死性の熱性疾患であるデング熱と、重症型のデング出血熱の2つの病態があります。デングウイルス感染症がみられるのは、媒介する蚊の存在する熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国ですが、アフリカ、オーストラリア、中国、台湾においても発生しています。

連絡先:

長崎大学広報戦略本部

深尾 典男

Email: fukao@nagasaki-u.ac.jp

Tel: 095-819-2007

熱帯医学研究所ウイルス学分野

森田 公一

Email: moritak@nagasaki-u.ac.jp

Tel: 095-819-7829

アステラス製薬株式会社 広報部

Tel:03-3244-3201

Fax:03-5201-7473

HP: <http://www.astellas.com/jp>